

政策	安全で快適な都市生活の充実	施策	消防・救急の充実	基本事業	救急救命体制の充実		
部名	消防	事業開始年度	平成7年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	庶務課	事業終了年度	-年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	江別市消防吏員 ・救急救命士:45歳以下の救急有資格者 ・救急標準課程:30歳以下の消防吏員
意図	増加傾向にある救急出動に加え、複雑多様化及び高度化する救急事案に対応するため、救急救命士及び救急隊員の養成を図り、高度救命処置に対応できるようにする。
手段	救急救命士及び救急有資格者を年次計画で養成する

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度予算	23年度予算	目標
対象指標1	45歳以下の救急有資格者数	人	32	33	35	36	
対象指標2	30歳以下の消防吏員数	人	15	16	17	18	
活動指標1	救急救命士養成課程派遣人員数	人	0	0	1	1	
活動指標2	救急標準課程派遣人員数	人	2	2	2	3	
成果指標1	計画に対する救命士充足率	%	90	90	90	90	
成果指標2	特定行為等実施対象者数 (除細動、輸液、気道確保及び薬剤投与)	件	91	108	98	98	
単位コスト指標							
事業費計 (A)		千円	333	302	2,857	2,907	0
正職員人件費 (B)		千円	2,090	2,075	2,082	2,037	0
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		千円	2,423	2,377	4,939	4,944	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案 (2月時点)	

23年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

維持:現状の目的や方法に変更がなかつ3年度実施する事業  
 見直し:現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業  
 休廃止:21年度もしくは22年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業  
 新規:23年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性 (コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性 (成果)	向上			
	維持			
	放低下			